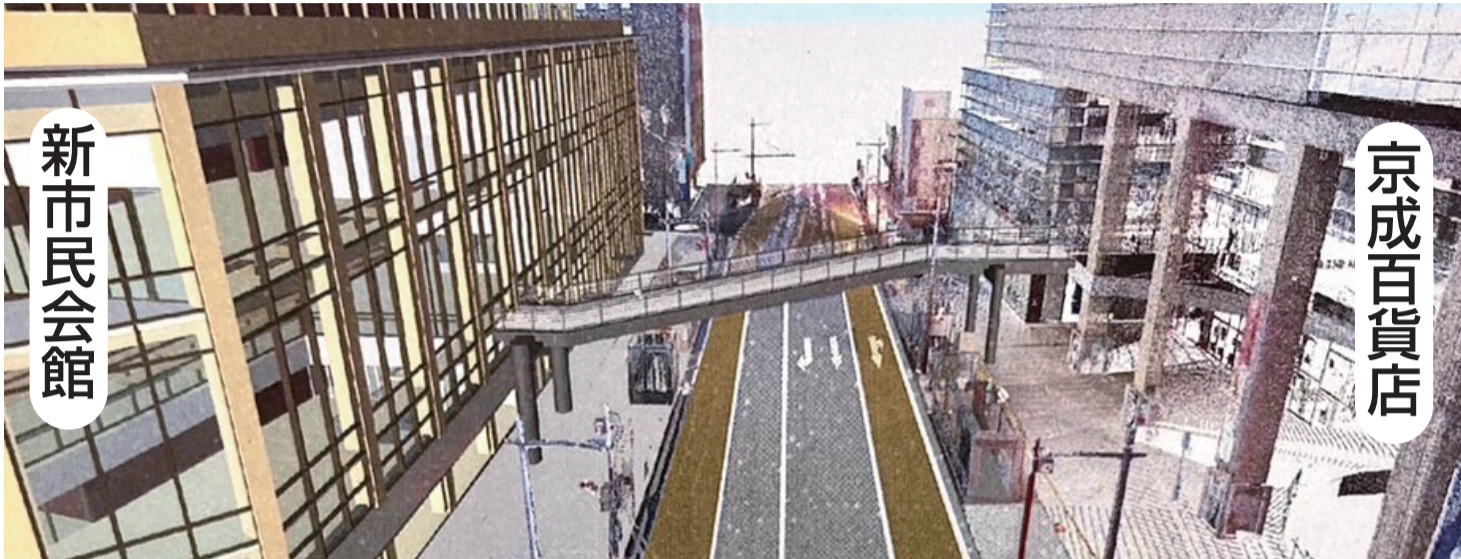


新市民会館と京成百貨店つなく

5億4000万円→8700万円増額

# 上空通路 6億2700万円に

▶大工町方面から（屋根はなく傾斜があります）



新市民会館

京成百貨店

日本共産党  
水戸市議団  
Japan Communist Party Mito  
NEWS

2023年2月  
議会報告

No.711

発行  
日本共産党水戸市議団  
水戸市中央1-4-1  
水戸市議会内

●ホームページ  
http://jcpmito.com/  
●メール  
jcpmito@nifty.com  
●TEL  
029-306-9793

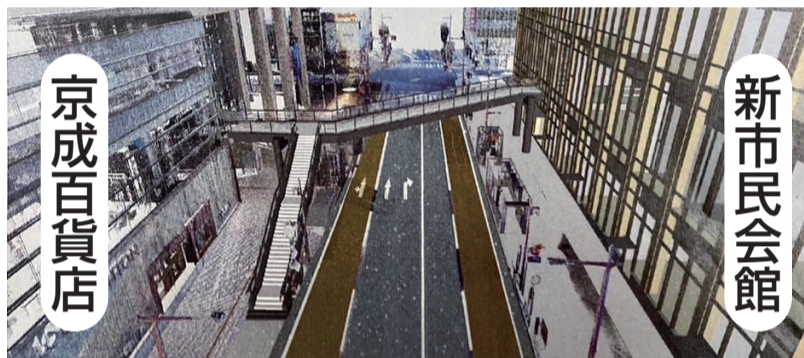
◀水戸駅方面から

水戸市は2月10日の特別委員会で、新市民会館と京成百貨店を2階部分でむすぶ上空通路の工事費について、5億4000万円から6億2700万円へ8700万円増額することを報告しました。

## 京成百貨店側に支障物、接続部も変更

増額の主な原因は、①上空通路の支柱を立てる場所（京成百貨店側）にH型の鋼材や矢板が残っており撤去に費用がかかること（国が負担）、②上空通路と京成百貨店との接続部の工法の変更や吊り足場に変更するために工事費がかさむ（市が負担）などとしています。

この上空通路建設は、京成百貨店の要望からスタートしましたが、京成百貨店が費用を負担できないとしてとん挫していました。その後、市が全額税金で建設すると変更し、建設することが決まったものです。地下通路は既にあり、地上では横断歩道もあります。



京成百貨店

新市民会館

## 田中議員が中止もとめる

田中市議は「元々必要がない通路だ。今回の増額理由も京成の事情によるものであり工事費増額などあり得ない。雇用調整助成金の不正受給も大問題となっており、上空通路建設は中止すべき」と主張しました。

増額内訳	国	2億1100万円→2億6200万円	5100万円増
	市	3億2900万円→3億6500万円	3600万円増
	合計	5億4000万円→6億2700万円	8700万円増

# またもや税金で 泉町・中央ビルの再開発計画



現在の中央ビル周辺地区

## 13階オフィス・マンション建設

新市民会館の西側、伊勢甚所有の中央ビル周辺区域について再開発を進める動きがあることがわかりました。

中庭次男市議は2月10日の建設企業委員会でこの問題を取りあげ、市の見解をたどりました。

中庭市議の調査では、①「(仮称)泉町2丁目中央ビル街区再開発勉強会」が、2022年7月27日(第一回)以降5回の学習会が、伊勢甚本社などをメンバーに開かれたこと。②再開発の理由は伊勢甚所有の中央ビルが築

50年を超えて建て替えが必要であること。③再開発事業で行えば建築費の3割から4割が市から補助金が出ることなどが勉強会で強調されています。この中央ビル再開発構想では地上13階・地下1階で店舗・オフィス・マンション等を建設する計画です。(左図参照)

2023年3月には再開発準備組合を設立し、市に再開発基本計画を提案、補助金交付を受けるため事業化着手を報告した後、6年後の2029年(令和11年)の完成をめざす方針です。

## 際限ない伊勢甚支援やめよ

中庭議員は「再開発地域の建物面積の9割は中央ビルがしめており、伊勢甚のための再開発だ。市は補助をするつもりなのか。伊勢甚は泉町南地区の再開発で68億円、新市民会館建設でも40億円近い補償を受けた。これ以上伊勢甚のための再開発など認められない」と主張しました。

## 水戸市は補助を否定せず

市は「中央ビルの再開発計画は知っている」と答弁。都市計画部長は「再開発の適用にあたっては慎重に検討する」と答え、中央ビル周辺の再開発への補助を否定しませんでした。



中央ビル周辺再開発構想

